SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：　株式会社　熊日会館

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・ビル管理会社として、「安全・安心な建物である」ことが、会社の指針であり、そのために日々建物管理点検、調査を行っている。 ・災害時に素早い対応が出来るように、教育と訓練を行っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・複合施設の建物を管理するのに必要な法令である建築基準法、ビル管法、消防法等の管理点検を行っている。 ・建物に必要資格の有資格者を配置して管理を行っている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・工事、物品、業務委託において、公正な取引を行なうため、透明性を持って取引先の決定を行っている。優位的立場を利用した取引等を行なわない。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・安全性や環境問題に対しての新たな提案を配慮しながら各部長が検討し、その事業が及ぶす影響を責任者を含めた全社員で認識し、役割分担している。 ・企業活動として、街の商栄会、協議会に参加し、情報を共有すると共に、街の安全と賑わい創出の活動の強化のために部長、調査役が担当者として協力している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・建物における知的財産には、特許、商標等を申請し、またその重要性を全社員に教育して知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人の情報は、金庫または鍵のある棚で厳重に保管し、社員が勝手に閲覧することは出来ないよう管理している。 ・個人情報保護法における個人情報の取扱の規定を作成整備している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・新聞や媒体を利用して、自社だけではなく、建物のある街の良さを啓発し、街の魅力、建物の魅了を紹介している。 ・株式会社熊日会館の企業状況について事業報告を行い、決算報告を新聞紙面で行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・会社の事業の継承のため、専門技術、専門資格等の取得を推奨し後継者の指導、育成に取り組んでいる。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用において、差別や人権侵害が無い採用を行い、社内では、ハラスメント防止を規定して、徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・建物内での事故等を防ぐためにも、点検作業員の環境を整備し、また安全パトロールを行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・各種雇用形態（社員・嘱託社員・アルバイト）に対して、公正な待遇で対応を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業0を目指して、週1回のノー残業デーを行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・新入社員、部長昇格等グループ会社での研修に参加している。 ・ビル管理に必要な、宅建、防火・防災管理、高所作業車運転、消防点検資格、ビル管資格等を積極的取得する事を行っている。 ・必要な資格取得には、会社より費用を負担する。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断は毎年全社員受診、インフルエンザ予防接種率100%。 ・社員全員が日々体温測定を行っている。薬箱、マスク、コロナ陽性検査キットも常備している。 ・健康診断は、基本検査費用を会社が全額負担し、インフルエンザ予防接種は、接種費用の半額分を会社が負担している。 ・ウォーターサバーを設置し、常に水分補給が出来るようにしている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務において、性別の違いによる差別的業務にならないよう、担当替えを行いながら、全ての業務を全社員が担当する。昇進や昇格などに人種、性別などの違いによる差別的待遇は行っていない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・コロナの感染が広がると、時差出勤と事務所の分散を行っている。また、日々の朝礼や建物内の連絡会議、テナント会を中止して、報告書やメールで連絡を行っている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：　株式会社　熊日会館

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・熱源設備における煤煙濃度測定、居室の空気環境測定、ゴミ庫、駐車場にはグリストラップ、ガソリントラップを設置し、トラップ内の油脂を汲み取り、産廃処理を適性に行い、マニフェストの管理保管を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・各テナントのエネルギーの使用をBEMSにて把握し、各テナントに削減の提案等を行っている。 ・館内のLED化を実施している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・第2種エネルギー管理指定工場に指定され、CO2の排出量を全て把握し、その削減に取り組んでいる。 ・22年度熱源機器の更新には、CO2の排出の少ない機器を導入した。 ・今年度も新しい熱源機器の運転で、CO2の排出を10%削減（原油換算）抑制に取り組でいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・トイレ、散水栓は、雨水を使用している。 ・コピー用紙は、使用した裏紙も再利用している。 ・パソコンや設備機械の部品もできる限り再利用を行っている。 ・水質保全のため、建物内厨房の排水には、グリストラップ設置し、使用頻度に合わせ、浮上油回収、残渣物を汲み取り、産廃業者にて排出し、最終排出までをマニフェストで確認している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・ゴミの分別を細かく行い（ダンボール・紙・ビン・カン・ペットボトル）リサイクルを行っている。 ・コピー用紙は、使用した紙の裏紙も利用、また機器の部品等も再利用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・排出水の水質の検査を定期的に行っている。 ・トイレ、散水栓は、雨水を使用している。 ・節水型便器等を使用している。 ・熱源機器は、水冷式から空冷式の機器に変更更新した。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・リサイクルトナーを使用している。 ・コピー用紙は、使用した紙の裏紙も再利用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・建物屋上に樹木や草花を植えて屋上緑化し、1階花壇にも沢山の樹木を植え、毎月専門業者による保全管理を行っている。 ・自動散水機を取りつけて、適度な散水を行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・熱源機器更新の際、高効率機器の機器を導入し、2022年4月から稼働している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・全社員に対して、公共交通機関を利用することを推進している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・2050年に向けて、CO2の排出量ゼロに向けて、2022年度は10%（原油換算）削減して、再生可能エネルギーの積極的な活用と高効率機器の導入を実施計画を策定して進めている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：　株式会社　熊日会館

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・建物管理会社において、安全第一に作業を行うように、指導している。 ・来館者の意見、改善の要望を、社員全員で検討する社内会議を行い、改善を行っている。。 ・月に1回テナント会を開催して、建物等での問題点や施設内容等を議題として改善を行っている。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・年数が経つと建物の点字の外れ、通路のがたつきや段差ががでてくる。点字の外れは直ぐに修繕を行い、また、歩く方、車椅子の方が通行しやすいよう、今年度も通路やスロープ等のがたつき段差が出たとこは改修工事を行っている。									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
製品・サービス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
製品・サービス	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・上通商栄会、熊本市上通5丁目商店街振興組合、上通商栄会女性部会、すきたい熊本協議会、地区自治会に積極的に活動に参加している。 ・公益財団法人熊本善意銀行、熊本県暴力追放運動推進センター、熊本県スポーツ協会、更生保護法人熊本県更生保護協会、熊本中央地区交通安全協会等の活動に少しでも貢献できるよう寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・地震、水害に対し浸水防災対策マニュアルを作成し、災害のレベルによる対応対策を決めている。 ・水災の時は、防潮板を設置することがあるので、1年に1回は、防潮板の取付訓練を行っている。				4							11.5		13.1			16	
持続可能な社会・地方創生	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・防火・防災訓練、防火・防災共同協議会を開催し、テナントの新人社員に、指導教育等を行っている。防火・防災管理者の資格を新社員にも取得させ、社員全員が防火・防災認識を持たせている。 ・自衛消防業務講習は、消防署からの講習受講の割当人数が限られており、今年度も防災センター勤務者を優先し受講している。 ・AEDの講習会を年2回建物内開催している。この建物に勤務する誰もがAFDを使用できるように教育を行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
持続可能な社会・地方創生	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
持続可能な社会・地方創生	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
持続可能な社会・地方創生	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
持続可能な社会・地方創生	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。